

## 1. 総括

今年度は新しく1名の利用者さんを迎え13名でのスタートとなった。

様々な活動に取り組み利用者さんの「働く・たのしく・たくましく」を支えている。

移転に向け新しい活動場所をイメージしながらスケジュールにメリハリを持ち、集団が交じり合えるような活動を意識して過ごしてきた。

クラブ活動の内容も充実してきており、ダンスクラブでは課題曲を決め夏祭りやクリスマス会でみんなと一緒に発表する楽しさも味わった。

健康面においては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症への変更があったが、職員の定期的な抗原検査や活動時間内でのマスクの着用は引き続き実施した。利用者さんには、毎朝のバイタルチェックも継続しながら、陽性者が出たときには自宅療養など、ご家庭での協力も得ることができた。

また、産休に入る方、職場異動や初めての職種としてダックで働き始める方、退職した方など様々理由で職員の入れ替わりがある1年だった。そのことにより改めて統一した支援を実施することの困難さを感じた。

研修や現場での経験を重ねていく中で、利用者さんに寄り添うことを一番に根付かせ、その後一緒に楽しんで活動に参加できる雰囲気づくりを心がけていきたいと感じる1年であった。

## 2. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数	21	21	23	22	21	21	22	21	21	20	20	23	254
延利用者数	222	221	248	232	224	223	195	221	213	199	213	223	2,634
1日平均利用者数	10.6	10.5	10.8	10.5	10.7	10.6	8.9	10.5	10.1	10.0	10.7	10.6	10.4

※主な欠席理由…体調不良、精神不安定、家事都合、他事業所と併用利用  
コロナ集団感染(10月)

利用者障害支援区分 (令和6年3月現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0人	5人	2人	6人

※平均区分 5.1

### 3. 担当職員（直接処遇職員 8名）

サービス管理責任者：青木

看護職員：板鼻

生活支援員：後藤（9月～産休・育休）、吉田（～7月）、富澤、宇賀神、高波、  
藤野（～12月）、金子（6月～）

### 4. 年間支援実施内容

#### ・日課 Bチーム

9：30 受け入れ・バイタルチェック

9：50 朝の会・ラジオ体操・掃除

10：15 お茶

10：30 午前の活動

軽作業・ATM 清掃・散歩・室内レクなど

12：00 昼食・はみがき

13：00 検温・午後の活動

クラブ活動（創作、やま。音楽、ダンス）・軽作業・ドライブ等

（15：00 毎週火曜日はコーヒータイム ※インスタントコーヒーを自分で  
作って飲むという体験 ）

15：15 お茶

15：30 帰りの会

16：00 送迎

※Aチームは、個別のスケジュールの見直しを行い、作業やクラブ活動など集  
団での活動を意識した。。

（休憩の使い分け、Bチームでの活動(集団での活動が負担でない方) クラブ  
活動の参加など)

自立課題の整備（見直し、修理、新調）を行った。

1名 AチームからBチームへの移行を行った。

新しい利用者さんについては、まずは信頼関係の構築を重点的に対応したこ  
とで安心して通えるようになった。

#### ・創作クラブ（第2、第4金曜）

Viewing 展、グループ展（碧い時）など展示ができた。

2次利用に関する承諾を随時確認してきた。

#### ・やまくらぶ

歩くペースの違いで集団が離れてしまったり待ち時間ができ落ち着かない人もいた。

- 音楽クラブ・ダンスクラブ（毎週月曜日）

音楽クラブは、講師都合により年度途中より休止中

ダンスクラブは、夏祭りやクリスマス会など目標に向けて課題曲を練習することによってやる気や楽しみに繋がっていた。

- 自主製品・下請け作業（わんこ・ペン箱詰め・ATM 清掃・新聞折込）

作業が入ると利用者さんのモチベーションが上がる様子が見られた。

わんこ…販路拡大はできず、月に1～3回程度の作業になってしまった。

売上 116,957 円/年（昨年度比67%）

ペン箱詰め…職員によるダブルチェック、在庫管理の徹底を行った。

作業工賃 21,100 円/年（昨年度比155%）

ATM 清掃…ATM 閉所があり、清掃箇所が1か所のみとなってしまった。

作業工賃 62,172 円/年（昨年度比52%）

新聞折込…月に2回受注。納期がとても短いため、たくさんの量に取り組むことは難しい。

作業工賃 30,859 円/年（昨年度比168%）

- 係活動（日直、お茶運び、コップ運び、ラジオ体操、挨拶係）

全員の活動ではないが経験を重ねることによって自分の役割理解し意欲的にとりくめた。

- レクリエーション（輪投げ、玉入れ、黒ひげ、ジェンガ、パズルなど）

個別での活動が多く、活動が分かれてしまいまとまりがなかった。

肢体不自由のある利用者用に1階にもスケジュールボードを作りわかりやすくした。

- 個別対応（足湯マッサージ、ドライブ、自販機買い物、相談支援など）

- 土曜開所日の設定

毎月第1土曜日を開所した。土曜開所日の活動内容は主に利用者さんの要望を取

り入れ行った。

しかし土曜日はすでに他事業所を利用していたり、家族と一緒に過ごしたいという要望も多く出席者は少なかった。

#### ・余暇活動

月1回の余暇活動は毎月楽しみを持てる活動となった。

##### 【行ってきた活動】

4月 カラオケ

5月 ボーリング

6月 りんどう湖ファミリー牧場、やまくらぶ遠征（雨巻山）

7月 ナイスハートふれあいのスポーツ広場招待

8月 夏祭り、やまくらぶ遠征（キスゲ平天空回廊）

9月 焼肉ランチ

10月 みかも山公園 ※コロナ集団感染のため中止

11月 カルフルとちぎ・リンゴ狩り

12月 劇団四季ミュージカル招待、クリスマス会

1月 益子焼絵付け

2月 バレンタインチョコパーティー

3月 市内散策ウォークラリー

※その他、毎月工賃支給日の買物を実施した。工賃買い物は楽しみになっていて作業などの意欲にもつながっている。

## 5. 生活支援

生活体験（買い物、窓拭き、裁縫雑巾縫い、洗濯、コーヒーの日など）

成果 ・同じ店舗での買い物は、セルフレジの使い方にも慣れてきた。

課題 ・成功体験、達成感につながるような生活体験ができていない。

・宿泊体験が実施できなかった。

健康管理（体温測定、血圧測定、体重測定、口腔ケア、服薬支援、定期健康診断、インフルエンザ予防接種、コロナウィルス感染予防対策継続、健康相談の記録、職員の健康診断結果に基づく医師からの意見聴取など）

成果 ・職員の定期的抗原検査実施や利用者さんの体調不良時の抗原検査実施で不安を和らげることができた。

・健康チェックシートは家庭とも共有できている。

・体調不良時は欠席する判断をしてくれる家庭が増えた。

・健康診断後再検査も実施されている。

- 課題
- ・10月にコロナウィルス陽性者が拡大してしまった。その際、感染予防対策が不十分なところがあった。
  - ・けがをしてしまった時の対応に違いがあった。

## 6. 職員会議、支援会議

### (1) 職員会議

毎月1回開催し、各月の行事報告、日中一時報告、各委員会・運営会議会議報告、翌月予定の確認を行った。

- 4月22日 余暇活動総括と計画（外食、カラオケ、ボーリング）  
移転mtg報告：日本財団再チャレンジが決まる
- 5月27日 余暇活動総括と計画（ボーリング、りんどう湖）  
研修報告：ダウン症について（リーオンミー）  
虐待防止委員会：身体拘束防止の指針を作成した
- 6月24日 余暇活動総括と計画（りんどう湖、ナイスハート）  
研修報告：口腔ケア、虐待防止：車いす拘束の評価
- 7月22日 余暇活動計画（夏まつり、山ク遠征キスゲ平）  
移転mtg報告：利用者にどう過ごしてほしいか意見募集
- 8月19日 余暇活動総括と計画（ナイスハート、山ク、夏まつり、BBQ）  
研修報告：BCP研修、口腔ケア
- 9月30日 余暇活動総括と計画（夏まつり、焼肉）  
ヒヤリハット報告：西村さん転倒
- 10月28日 余暇活動総括と計画（焼肉、三義山、リンゴ狩り）  
移転mtg報告：日本財団1次審査通過した
- 11月23日 余暇活動総括と計画（リンゴ狩り、クリスマス会、20歳を祝う会）  
ヒヤリハット報告、全職員研修報告、移転mtg報告
- 12月16日 余暇活動計画（ミュージカル、クリスマス会、20歳を祝う会、絵付け）  
虐待防止（西村さん対応）、研修報告：著作権
- 1月20日 余暇活動総括と計画（ミュージカル、クリスマス会、20歳を祝う会、絵付け）ヒヤリハット報告（階段昇降時の安全確保）  
移転mtg報告：工事着工に向けて

### (2) 支援会議

職員会議と合わせて概ね毎月1回第4土曜日に開催した。

内容は…

- ・個別支援計画策定

概ね期日内にモニタリングを実施し新たな個別支援計画を作成することができた。

個別支援計画の中間評価 到達目標の達成状況、原因分析がまだまだ浅い。  
短期、長期目標をきちんと定められていない。

- ・ケース検討（個別の評価）課題としては、個別支援計画のさらに細かく見た新個別支援計画が導入を計画したができなかった。

### (3) 総括会議

1/20 (土)PM、27 (土)

#### 【協議事項】

- ・令和5年度 分野別報告及び年度のまとめ

2/11 (土)、18 (土) PM

#### 【協議事項】

- ・令和6年度 分野別計画及び年度方針

## 7. 職員研修

- 4月24日 リーンオンミー 強度行動障害の動画研修
- 5月26日 リーンオンミー ダウン症の動画研修
- 6月 リーンオンミー 口腔ケア対策の動画研修（板鼻）
- 7月 リーンオンミー 法律や制度から学ぶ支援者の役割 動画研修
- 8月 8日 BCP（事業継続計画）研修（青木）
- 8月17日 口腔ケア研修会（板鼻）
- 8月30日～31日 きょうされん全国大会（成田）
- 11月23日 CCV 全体研修：苦情を予防するコミュニケーション方法その他
  - ・TAM会議（青木）

## 8. 安全・安心

### (1) 防災管理

消火、通報、避難誘導の訓練を実施した。

- ① 5月30日（月） 13時30分～
- ② 11月30日（金） 13時30分～
  - ・11月の訓練時、自動通報装置のヒューズが切れていたため通報訓練ができなかった。（修理済）
  - ・漏電ブレーカーによる停電があった
  - ・災害時における防災マップ、関係情報一覧表の掲示をした。
  - ・設置した非常用ライトがとても暗いことがわかった。
  - ・保存食を実際に食べる体験をおこなった。

## (2) 危機管理

### 事故・ヒヤリハット

- ・利用者 3件 (転倒、落とし物)
- ・職員 1件 (階段昇降時の支援の仕方)

毎月事故・ヒヤリハットを職員会議で報告・共有し、その後の対応を話し合った。

※また、ヒヤリハットになりうる件も検討した。

小さなことでもドキッとしたり、危なかったなと感じたことを報告する必要性

## (3) 苦情解決

受付 0件 (苦情に近い要望は受けた)

法人全体研修で苦情を予防するコミュニケーションについて学んだ。

要望に寄り添い、真摯に対応した。

苦情に近い要望については、苦情として扱い記録を残していく必要性を感じた。

## (4) 虐待防止

- ・毎月の職員会議で虐待と感じたことを話し合った。  
(車イスの座り方や離れての対応、利用者さんのできることをやってしまうなど)
- ・身体拘束に関する説明書の記入
- ・虐待防止委員会に参加(身体拘束等の適正化のための指針作成、研修)

## 9. 送迎の実施

- ・1年間事故なく安全に送迎を行うことができた。
- ・坂下コース、坂上コース、南コースの3コース運行  
全車にドライブレコーダーを設置した。  
車両のアルコール消毒は5類感染症に移行したことから終了した。
- ・家族が就労のため出かけた後自宅で1人留守番をし、送迎車にのることのサポートを行った。

## 10. 地域・関係機関との連携

### (1) 広報・宣伝

広報紙の発行、HPの更新管理

- ・毎月発行のダック通信により日中一時と生活介護の様子を伝えることができ

た。併せてSNS（フェイスブック、インスタグラム～アート限定～）での広報活動を行った。

- CCVだよりの広報委員会に参加し定期的な発行を行うことに寄与した。
- HPの更新は手を付けにくい。も課題として挙げられる。

## （2）家族支援

- 家族会入会と会費の取りまとめ、総会資料の配布などを協力した。
- 10/15（日）家族会親睦会に参加した。
- 個々の家族との面談の機会をもった。
- 家族からの急な送迎の変更などに対して柔軟な対応を行った。イレギュラーな送迎については時間の都合などによりお断りをした。
- 連絡帳や送迎時に、家族と服薬や排便の有無など細かい様子を共有した。また、家庭で困っていることなど細かな要望を電話や連絡帳にて応じた。
- 情報提供

## （3）特別支援学校、学級実習生の受け入れ

今年度の2名の実習生の受入を行った。その中1名利用につながった。

- 学校との日程調整もスムーズに行えた。
- 安全に体験してもらえた。

## （4）ボランティアの受け入れ

クラブ活動や余暇活動にボランティアが必要と感じる。今後ボランティアの依頼は必要。

## （5）関係機関

関係者会議（ケース検討会議）を定期開催することで課題と目標の共有ができた。相談支援事業所やグループホームなど本人を取り巻く環境で関わっている担当者や利用者との基本情報の聞き取り、状態把握、サービス等利用計画について確認を行った。

特別支援学校の進路指導の先生方とつながることができたことで実習の問い合わせが増えた。

## 11. その他

日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト 2023」に応募したが一昨年前同様に最終審査で落選。助成を受けることができなかったが、今

後 CCV ダックの移転についてはウイステリアエステートさんによるダック移転計画を検討していく。

## 1. 総括

今年度は、利用者さん・職員ともに新型コロナウイルスに集団感染してしまい日中一時を閉所する日もあった。(10/17, 18)

日中一時の必要性は、生活介護やB型の福祉サービスを利用し終えた後の日中活動の場の確保、緊急時の確実な対応、活動内容の充実に分類される。

特に活動内容の充実では、農作業をはじめ毎月の壁面飾りの制作、習字やぬりえなど集団での活動を意識して取り組んだ。

利用者さんのニーズに応えるためには、制度的・人的に限界があるが生活介護の職員とも協力していろいろな体験、楽しい活動を増やしていきたい。

## 2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	8	9	9	9	10	9	10	10	11	11	11	115
稼働日数	20	20	22	21	20	20	19	20	20	19	18	19	238
延利用者数	131	127	138	138	127	130	109	134	132	118	140	129	1553
1日平均利用者数	6.6	6.4	6.3	6.6	6.4	6.5	5.7	6.7	6.6	6.2	7.8	6.8	6.5

※主な欠席理由…家庭の都合

## 3. 担当職員

山本・池田

## 4. 年間支援実施内容

障利用者のニーズに合わせた作業を行うとともに余暇を充実させるための活動と支援を行った。

具体的な支援内容は、送迎・おやつ・散歩・野菜作り・習字・ぬりえ・学習などくつろいだ時間を過ごすことができた。

開所時間 平日 12:00~17:50

## 5. 成果と課題

成果

- ・仕事の不安や困りごとなど傾聴を行った。

- 定期的にフロアー内の掃除など快適な生活環境を提供した。
- おやつ作りや準備の手伝い等楽しみの中で経験をつむ活動をした。
- 発語が困難な利用者には表情で汲み取る事が出来るように努力した。

#### 課題

- 利用者を増やす日中一時支援のPR。
- 職員間の連絡や報告、相談の徹底など職員の職務・職責意識の高揚。
- 職員の専門性を高めるとともに、人権教育の充実、徹底。

## 6. 職員研修、職員会議、健康管理、衛生管理等実施内容

### 職員研修

動画研修も含め多様な研修に参加できた。

株式会社 Lean on Me による e ラーニングによる研修

より良い支援の情報を得ることができ、職員のスキルアップにつながった。

### 職員会議

生活介護と合同で毎月1回開催した。また、その会議報告書を参加しなかった職員にも供覧した。

日誌を供覧し日々の状況を共有した。

利用者が困っている時など気づいた時にはその都度話をして情報を共有した。

### 健康管理

手洗い、うがいの慣行、消毒、体温チェック、こまめな水分補給など。

万歩計アプリを使って散歩を行うことで目標をもって取り組めた。また気分転換にもなり、コロナウィルスの影響で日々のリズムが崩れた利用者さんのストレス解消にもなった。

## 7. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

今年度も継続して多目的室の壁面を毎月季節感のある構図で飾ってきた。